

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス のぞみ		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重度心身障害児への対応力 医療的ケアや重度の障害をお持ちの方の受け入れ実績があり、専門的な支援体制を整えています。一人ひとりの状態に合わせた個別支援を大切にしています。	医療的ケアや重度の利用者に対応するため、看護職員・支援員間での情報共有を密に行い、日々の体調変化に迅速に対応できる体制を整え、支援の質の向上に努めています。	より専門性の高い支援を提供できるよう、外部研修への参加や専門職との連携を強化し、職員のスキル向上を図っていきます。また、医療的ケアに関する知識の共有をさらに進めていきます。
2	安心できる人員体制と見守り 利用者の状態に応じた手厚い配置を行い、安全面・健康面に配慮した支援を実施しています。送迎や日中活動においても事故防止に努めています。	利用者の特性に応じた職員配置を行っています。またケース会議にて本人の情報共有を日常的に実施しています。また、送迎時や活動中の安全確認を徹底し、事故防止に努めています。	職員の育成や定着に力を入れるとともに、研修やマニュアルの整備を進め、誰が対応しても一定の質を保てる体制づくりを目指します。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族との連携の深さ 日常的な情報共有は行っているものの、ご家族のニーズをより深く把握し、支援に反映するための機会の充実が課題です。	日常業務を優先する中で、面談や意見交換の機会を十分に設けられていないことが要因と考えられます。	定期的な面談や保護者会の充実を図り、ご家族の意見やニーズを把握する機会を増やすことを検討します。また、相談しやすい環境づくりにも努めます
2	地域との関わり 地域との交流機会は僅かにあるものの、継続的な関係づくりや新たな地域資源の活用については、さらに取り組む余地があります。	利用者さんの障害特性や体調等を考慮する上で、地域交流が難しくなっています。	地域に出る事が難しい為、地域の方に来ていただける様、地域資源の情報収集や関係機関との連携を強化し、交流機会の拡充を図ります。
3			